

表 有効積算温度計算シミュレーションによるチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

地点	長崎	佐世保	大瀬戸	口之津	平戸	長崎 (平年値)
第6世代	8/24	8/24	9/7	8/27	9/12	8/22
〃 (前年)	8/23	8/25	9/5	8/26	9/9	—
第7世代	9/13	9/12	9/29	9/15	10/6	9/8
〃 (前年)	9/12	9/13	9/29	9/15	10/3	—
第8世代	10/4	10/6	10/31	10/8	11/18	9/29
〃 (前年)	10/5	10/7	11/1	10/10	11/9	—
標高(m)	27	4	43	10	58	27

注1:発生ピーク予測日は気象庁アメダスの気温データを用いて有効積算温量により算出した。なお、積算には2014年8月30日までは観測値を、以降は平年値を使用した。

注2:同一地区内でも、山間部では予測発生ピーク日が異なる場合があるので注意する。また、今後の気象条件により予測日は前後する場合がある。

注3:表中の発生ピーク予測日の5日前から発生ピーク予測日の期間に薬剤散布をすると防除効果が高い。なお発生が多い園では、1果当たり寄生虫数が0.1頭に達する前に防除を行う。